

キリコ初登場

24日の「長谷部まつり」

パレードに勢い



長谷部まつりのパレードに初参加するキリコ2基
—穴水町の旧町生涯現役センター体育館

穴水奏友会 2基譲り受け、催しに活用

24日に穴水町で開かれる第49回長谷部まつり（北國新聞社後援）のパレードに、初めてキリコ2基が参加することになった。同町の音楽愛好者らで組織する「奏友会」が3日までに、まつりを盛り上げようと、長年担

がれていなかった2基を2地区から譲り受けて修繕した。同会は、同まつり以外の各種イベントにもキリコを繰り出し、穴水の活性化を図る。

同町の楽団「穴水ウインドアンサンブル」の清水一洋代表（42）ら有志が

昨年11月から準備を進め、能登町武連と穴水町大町（江川町）の2地区から、キリコ2基を譲り受けた。今年4月に奏友会を設立し、旧穴水町生涯現役センター体育館で2基の修繕を進めていた。清水さんによると、キ

町のキリコは高さ5・4メートルとなっている。24日午後1時半から穴水商店街通りで行われるパレードに2基を繰り出すほか、同9時45分から穴水港で行われる北國花火大会（本社主催）に合わせ、同町あすなろ広場に展示する。

町は、まつりの盛り上げだけでなく、奥能登のキリコの再生を図るとともに、キリコ2基を町おこしに活用したい考え。まつりに向けて、児童に鉦や太鼓の演奏指導も始めている。清水さんは「奥能登のまつりにはキリコが欠かせない。町民参加でまつりを盛り上げたい」と話した。